

山武癒旅

まんまや

なごみ苺苑

&WAN 九十九里

サンパファーム

移住・起業

三つ豆ファーム

虹のいえ

宿と朝ごはん ナガヨシ
るうふたの家

ふらんす屋

TAKE FREE

SAMMU / CHIBA
vol. 3
2022
SPRING

sammukanko.jp



多くの方に楽しんでいただきたい、 バリアフリーを目指した苺苑



苺狩り専用ハウスは上下2段式の高設栽培で通路は車椅子やベビーカーも余裕をもって通ることができるほど広く、テーブルとベンチもハウス内に設置しております。駐車場は苺ハウスに隣接しており、清潔な水洗洋式トイレがございます。

なごみ苺苑

千葉県山武市富田757-2 ☎090-8779-7103



海の幸を活かした料理が自慢の宿。 芝生の中庭でのBBQがおすすめ



すぐ目の前は成東海岸で、広い中庭はリゾート感たっぷり。宿自慢の料理は、アジのなめろうや地ハマグリ、イワシの刺身など旬の素材を活かしたメニューが味わえます。中庭で気軽に楽しめる海鮮バーベキューコースも人気です。

ニュー太洋

千葉県山武市本須賀3841-72 ☎0475-84-1129



JR成東駅から徒歩1分！ 山武市観光 について、なんでもご相談下さい。



山武市は、夏は海水浴、秋はフルーツ狩り、冬から春はイチゴ狩りが楽しめる歴史や自然のあふれる場所です。成東駅に隣接する観光案内所では、各種パンフレットを用意するほか、電動アシスト自転車の貸出(有料)もおこなっています。

山武市観光協会

千葉県山武市津辺361-13 ☎0475-82-2071



山武癒旅

PR BOARD

お店や会社のPRに！
お申し込みは山武観光協会へ。
☎0475-82-7100



愛犬と泊まれるホテル&レストラン 地域の食材を使った料理が好評！



愛犬と泊まれるホテルとレストラン(ランチタイム)を運営中です。1000㎡の天然芝ドッグランや雨でも安心な屋内ドッグランも完備しております。海岸入口まで徒歩0分の好立地で、潮騒を聞きながらゆったりお過ごしいただけます。

&WAN 九十九里

千葉県山武市白幡2295-28 ☎0475-53-3715



愛犬と一緒に楽しめるカフェは 砂浜が近く、散歩の休憩にも最適！



「蓮沼シーサイドイン小川荘」のリニューアル第一弾として、2022年4月1日にカフェをオープン。ペット同伴OKで、大きなガラス窓を開けると目の前は芝生のドッグランスペース。地元食材を使ったランチメニューも充実している。

サシローカフェ

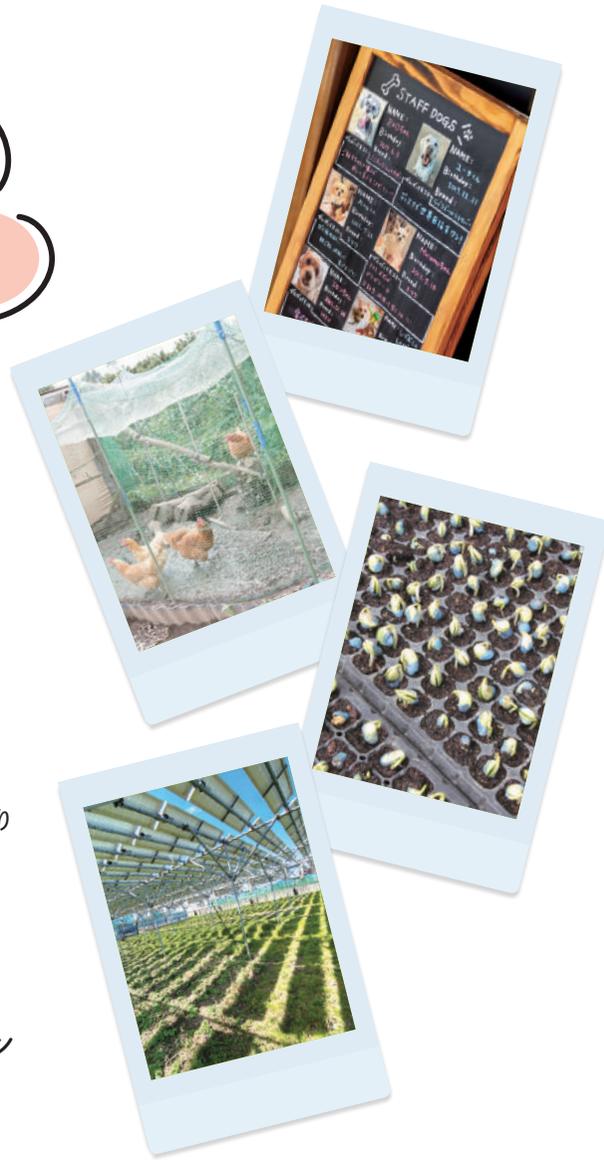
千葉県山武市蓮沼水の601



首都圏の「穴場」
ようこそ山武市へ!

CONTENTS

- 2 山武市は
移住・起業におすすめ!
- 4  愛犬と一緒に泊まれるホテル
01-&WAN 九十九里
- 6  カフェの2階に宿泊施設あり
02-ポッコレポ
- 7  無農薬で年間200品目の野菜作り
03-サンバファーム
- 8  広い空が見たくて目黒から移住
04-まんまや
- 9  海が近くのB&B
05-宿と朝ごはん ナガヨシ
- 10  バリアフリーのイチゴ狩り
06-なごみ苺苑
- 12  山林を開拓して作ったレストラン
07-ふらんす屋
- 13  こだわり素材を使ったカフェ
08-虹のいえ
- 14  新規就農から17年目の有機農業
09-三つ豆ファーム
- 15  築130年の古民家ホテルに泊まれる
10-るうふ杉之家



移住についてのお問い合わせは…
山武市役所 企画政策課
☎ 0475-80-1132
☎ 0475-82-2107



ijyuteijyu@city.sammu.lg.jp



●本須賀海水浴場は日本で3
か所目のブルーフラッグ認証
を取得した綺麗なビーチ

アクセス
東京駅〜山武市
(JR総武本線
成東駅)までは、
高速バスシーサ
イドライナーで
約1時間40分。
JR総武線快速
で約90分。特急
しおさいなら約
70分で到着する。

移住までのステップ

step 1 移住する目的を決める

どんな暮らしがしたいのか。農業をしながら
自給自足? 海辺でのんびり暮らす? 子ども
をのびのびと育てたい?

step 2 情報を集める

学校、福祉制度、支援制度や助成金などについて、
目的に合わせて情報収集する。

step 3 仕事を探す

仕事探しは今住んでいる地域でできることもあるし、
移住先でなければできないこともある。相談窓口を活用するのも手だ。



就業相談

<https://www.city.sammu.lg.jp/page/page001836.html>



新規就農ガイド

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shuunouguid/>

step 4 希望する地域を 実際に見学する

集めた情報のなかから、希望に合った場所を
絞り、実際に現地を見に行く。どんな生活が
できるか具体的にイメージしながら確認する。

step 5 住まいを探す

通勤に便利な場所や、子どもの学校に近いと
ころなど住まい選びは重要。まずは賃貸で暮
らしてみ、様子を見るのもおすすめだ。

山武市の魅力
千葉県の北東部にある山武市は、海と緑に囲まれたエリア。成田国際空港まで近く、都心までもクルマで約1時間圏内にある。市の南東部には九十九里浜があり、例年、7〜9月には海水浴場が開設される。また農業も盛んな地域で、全国1711市区町村中で92位の農業産出額を誇る。



●山武市役所 千葉県山武市殿台296

山武市の人口・世帯数

※2022年3月1日現在

男性 **24,889**人

女性 **24,438**人

合計 **49,327**人

世帯数 **22,387**世帯

千葉県山武市 におすすめ!

移住・起業

3	1
4	2

①ペットと泊まれる宿のポータルサイト「ステイウィズドッグ」が実施するアワードで、2019年に最優秀賞を受賞した。②ホテル1階のプライベートドッグラン。③2階にある4部屋はオーシャン&スカイビューが楽しめる。④愛犬用には「愛犬フレンチ」と「グレインフリー」の2種類を用意する



九十九里という全国的に知られた名前も魅力。都心からも近く、事業を始めるのに適した場所だ。もともと他のエリアでホテル業を営んでいたということもあって5年前に「&WAN 九十九里」を開業。愛犬と宿泊できるリゾートホテルが誕生した。犬と同伴できるホテルは全国に

山武市の海沿いを「愛犬フレンドリーエリア」に！
「母方の地元が隣町で、子どもの頃から本須賀海水浴場や蓮沼海浜公園へはよく来ていたんです」という海保さん。7年前に昔なじみのある山武市の海沿いの土地を購入し、セカンドハウスを建てて別荘として使っていた。
はじめは事業は考えていなかったというが、実際に住み始めて、愛犬と一緒に遊んでいるうちに、山武の海沿いエリアのポテンシャルの高さに気が付く。海が近く、愛犬と一緒に散歩できる広い砂浜もある。

2000軒あるといわれていて、2019年には、ペットと泊まれる宿のポータルサイト「ステイウィズドッグ」が実施する利用者投票で見事グランプリにも輝いた。目の前には白幡・井之内海水浴場の砂浜で愛犬の散歩ができ、併設するフレンチレストラン「ルサン」で愛犬と一緒に食事ができるというのも「&WAN 九十九里」ならではの魅力。レストランはランチ営業をしているので、宿泊者だけでなく食事だけの利用もできる。

九十九里は、日本で一番長い海岸線を持ち、その長さは約66km。とくに白幡・井之内海水浴場は、九十九里のなかで一番砂浜が広い海水浴場である。
九十九里という全国的に知られた名前も魅力。都心からも近く、事業を始めるのに適した場所だ。もともと他のエリアでホテル業を営んでいたということもあって5年前に「&WAN 九十九里」を開業。愛犬と宿泊できるリゾートホテルが誕生した。犬と同伴できるホテルは全国に

「&WAN 九十九里」以外にも、貸別荘+プライベートドッグランの「ASOVELLA(あそびら)」、2021年8月には愛犬と過ごすリゾート「ASOVELLAGE(アソビレッジ)」をオープンした。さらに蓮沼海浜公園では「九十九里ビーチドッグフェスティバル」というイベントも主催している。「愛犬家100%」のイベントで物販があったり、アジリティがあります。海岸と天然芝の会場に1500人が集まるワンちゃんイベントです」という海保さん。山武市の海沿いを「愛犬フレンドリーエリア」として盛り上げようとしている。



&WAN 九十九里

千葉県山武市白幡2295-28
0475-53-3715



www.andwan-hotel.jp/kujukuri/



山武の海に惹かれ
愛犬と泊まれる
リゾートホテルをオープン

①ホテルは7室あり、1階にある3室はプライベートドッグラン付き。建物の隣には300坪もある天然芝のドッグランがある ②愛犬と一緒に本格的なフランス料理が食べられるのも魅力のひとつだ

移住・起業 | SAMMU / CHIBA

01



海保秀和さん



①現在はショウガだけでなくさまざまな野菜を作っている。②スナップエンドウは実だけでなく、香りの強い葉の需要もあり。③レストラン向けの少量多品目のなかにはピオラも。④無農薬で年間100品目の野菜を販売している

3	1
4	2

土は水はけもよく、
農業するのに
適した土地

新規就農に
やさしい
山武市



移住・起業 SAMMU/CHIBA

03

サンバファーム



松下信也 さん

新規就農して12年目。
無農薬で年間
200品目の野菜作り

以前は出張の多いエンジニアの仕事をしてた松下さん。子どもが生まれたことが「食」に関心を持ったきっかけとなり、さらに自分でもの作りをし、屋外で仕事をしたという思いもあり、農業、野菜作りに行きついた。

海が好きということで、沖縄や佐渡島、館山などいろいろと農業ができる場所を探すなか「農業人フェア」というイベントで就農相談会があった。

「僕も妻も冷え性だったので、無

農業でショウガを作りたい」、「就農してからの出荷先も気になっていた」ということで、それぞれのブースで話を聞き、相談するなかで千葉県山武市に決めた。

生産者を紹介してもらい、2010年から研修生として単身で1年間研修。そのあいだに畑と家を探し、ショウガ作りをスタート。現在12年目となる。

「農業するには最高の場所じゃないですかね」と松下さん。

山武市の新規就農の受け入れ体制、同期の就農の人との横のつながりもあり、気持ちの上でも技術面でも助けられているという。

サンバファーム

千葉県山武市横田962-2
※野菜の販売は予約のみ



sanbafarm.com



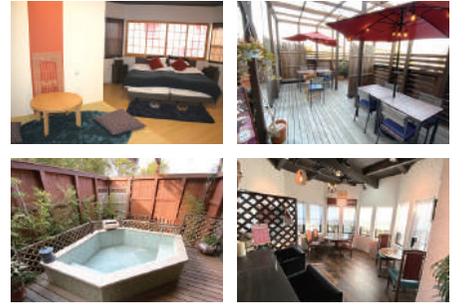
ビニールハウス販売・施工と
カフェの二刀流

カフェ「ポッコレポ」がオープンしたのは2020年8月1日のこと。フィンランド語で「ポッコレ」はふくろう、「レポ」は休息という意味。店内はハリー・ポッターの世界のような内装が施されていて、あちらこちらにフクロウをモチーフにした飾りが見られる。

本間さんが横芝光町から結婚を機に山武市へ移住してきたのは19年前のこと。いつか家族でやりたいと思っていたという念願のカフェをオープンした。

農業用のビニールハウスの販売・施工の会社の代表取締役でもあり、カフェで働くスタッフはビニールハウス会社でも働いていた二刀流。カフェでの接客は、ビニールハウス会社の勉強にもなるそうだ。カフェで使う食材は地元山武市のもを使用。メニューには牛すじカレーや手ごねハンバーグなどが並び、一番人気は、1日7食限定のポッコレポ御膳である。

2022年からは宿泊業もスタートする。カフェの2階に4室を用意し、貸切露天風呂もあり。2人用が3部屋、ファミリー向けの4人用1部屋を用意する。



①外にはテラス席があり、とくに天気の良い日にはおすすめ。②店内は天井が高く、大きな窓からの採光もあって開放感たっぷり。③2022年に営業スタートする宿泊施設。畳の小上がりがある4人部屋もあり。④宿泊者専用の露天風呂も用意している

3	1
4	2

いつか家族で
カフェをしたい
という思いを実現

ポッコレポ

千葉県山武市松尾町五反田2219-7
☎ 0479-74-7880



https://www.instagram.com/pollolepo/



カフェの
2階では
宿泊OK



移住・起業 SAMMU/CHIBA

02

ポッコレポ



本間裕一 さん



①宿があるのは本須賀海岸の近く。②天気がよければ庭でバーベキューも可。サウナ用テントがあり、気軽にサウナが楽しめる。詳しくはナガヨシのInstagramをチェック。③薪ストーブのあるラウンジ。大きな窓から日差しが入る。④3階のテラスから海が望め、晴れた夜には星空がきれいに見える

3 | 1
4 | 2

九十九里の 海の近くにある 小さなお宿

海が近く、晴れた日は朝日や夕陽、星空もおすすめ

2018年12月に成田から引っ越ししてきた永吉ご夫妻。2019年7月に宿をスタートした。お二人とも旅行好きということもあり、昔から宿をやりたいかつたそう。はじめは成田周辺で土地を探していたが、勇太さんの実家が横芝光町にあったこと、そして真理さんがサーフィンをするということもあって、本須賀で開業することになった。民泊として登録しているので年間180日の営業となり、勇太さんは平日は会社員として働

いている。1階には、窓が大きく自然光がたっぷり入るラウンジがあり、ここで食事をしたり、冬は薪ストーブで暖かく過ごせる。部屋はダブルルームが1部屋、シングルルームが2部屋の合計3部屋。真理さんに本須賀の魅力が聞くと「海が近く、月が水平線からあがってくるところが、すごい景色です」とのこと。

周辺には「&WAN九十九里」をはじめ、トレーラーハウスを使ったカフェや、女性専用のハワイアンマッサージ店などもオープン。海沿いのエリアがにぎわいはじめ

宿と朝ごはん ナガヨシ

千葉県山武市本須賀3841-85
☎ 0475-71-2880 (15~21時)



nagayoshi99.com



サーフィンの
拠点にも
便利



移住・起業 SAMMU/CHIBA

05

宿と朝ごはん ナガヨシ



Tsuta Mari Nagayoshi

永吉勇太さん 真理さん

地元の 魚・肉・米など 素材にこだわった メニューが味わえる

小林牧場の
国産黒毛
和牛を使用



まんまや

千葉県山武市日向台7-27
☎ 0475-88-2855



madei.jp

「広い空」が見たくて
山武市へ移住を決めた
神谷町、銀座、目黒などで和食のお店を営んでいた山田さん。いつかは広い空を眺めながら、地方都市でお店をやりたいという思いがあった。

たまたま目にとまった不動産のチラシを頼りに山武市へ。物件を見た帰りに、食事をするために立ち寄ったお店が偶然売りに出ていたということで、縁が重なっていまの店舗で営業をスタートすることになった。

東京都目黒区から2012年4月に移住。山武にきてからまず最

初にしたことは地元の食材探し。いろいろと足を運び、食材を吟味する中で、片貝漁港で水揚げされた魚を仕入れ、肉は小林牧場の黒毛和牛、お米は地元で栽培される自然農法米、野菜も地元産を使用している。

また、まんまやでは牛肉を販売する。東北の震災時に牛を連れて山武市に避難してきたという小林牧場を応援したいという気持ちから「まδει牛」を販売している。

1
2
3
4

①小林牧場の国産黒毛和牛を使った「サーロインステーキ定食」は2500円。②「まんまや」という屋号は目黒で営んでいたもの。③牛肉を使ったメニューが豊富。④片貝漁港から仕入れた魚を使った刺身定食なども人気だ

移住・起業 SAMMU/CHIBA

04

まんまや



Freshi Emiko Yamada

山田博志さん 恵美子さん



3	1
4	2

①圏央道・山武成東ICから約5km。都心から1時間ちょっととアクセスのいい場所にある。②上下2段の高設栽培になっていて、子どもでもイチゴを採りやすい。③話題の品種をはじめとして多品種を栽培していてハウス内で食べ比べができる。④イチゴ狩りのほか直売もあり



年間30万人が訪れる関東最大級のイチゴ狩りエリア

接客業や英文会計の講師などをしてきた浦野さん。心機一転で自営業をしたかと思っていたときに、国が農業の担い手を募集している記事を目にした。これまでの仕事の経験を活かせるということで、観光苺農園を開業しようと決めた。まったく未経験の農業の勉強をするにあたって、いろいろと探すなか、千葉県農業大学校は門戸を広く開いていた。同校の半年間の新規就農者研修を受けるために、2014年9月に都内から山武市に移住した。

研修の一環で、山武市成東観光苺組合の苺農園を紹介してもらい、農家研修を受けた。山武市といえば、やはりイチゴが有名なところ。年間に30万人が訪れる場所であり、イチゴ狩りでは多品種の食べ比べができる。

成東エリアは、海沿いで暖かく、冬の日照量が多く、おいしいイチゴができる環境にある。また、成田空港も近く、インバウンド需要も望めるので、浦野さんのこれまでの仕事も活かせると考え、山武市での開業を決意した。

成東エリアにある 観光農園で新規就農！

移住・起業 | SAMMU / CHIBA

06

なごみ苺苑



Kazuhiro Ueno

浦野和洋さん



①イチゴの受粉に欠かせないミツバチ。
②山武市のイチゴ狩りは、他のエリアと比べて多品種なのが特徴。「おいCベリー」、「紅ほっぺ」などのほか、千葉県の新品種「チーパベリー」や「真紅の美鈴」なども人気だ

2015年4月に「なごみ苺苑」を開業。苗を作るビニールハウスが3棟、イチゴを作るビニールハウスが6棟、合わせて9棟のビニールハウスでスタートし、4年目にはイチゴを作るビニールハウスを2棟増設した。

開業してからの7年間で大きな台風でハウスがつぶされたり、コロナ禍でイチゴ狩りのお客さまが激減したりで、大変なことも多かったが、自営業なので、お客さまに喜んでもらえることを考えた投資が自由にできるので、ストレスはないという。「怖いのは台風くらい」という浦野さん。

現在はイチゴ農家以外の業種の人と積極的につながり、観光協会の理事もつとめて地域への貢献も目指している。

なごみ苺苑は、バリアフリー化に積極的に取り組んでいてハウスの中でもクルマ椅子やベビーカーが通れるように通路幅を広くとっている。イチゴの棚は、高さ違いで2段になっていて小さな子どもでもイチゴが採れるようになっていて、フリーWi-Fi、キャッシュレスにも対応。「スーパースタイル」のものは一味違う、山武の甘熟イチゴを是非食べて欲しいです」



なごみ苺苑

千葉県山武市富田の757-2
☎ 090-8779-7103



nagomi15.com



大阪から移住して、最初にしたのは畑の開拓。大阪から移住してきたのは震災の次の年のこと。まずは岡さんが単身で山口市へきた。「妻のお母さんの生家があったところで、田も畑もありました」というが、田と畑は使われておらず、荒地だったために開拓するところから始めた。砂浜から500mのところにある土地は砂地で、作物が育ちにくいところ。そこで、腐葉土を大量に畑に入れる炭素循環農法ということで、土作りからスタートした。さらに鶏小屋を作ったりしながら3年、2015年にカフェ・虹のいえをオープンした。新鮮で美味しいものを食べ、もらいたいということから始めたカフェ。自分たちで作った野菜や卵を素材に使った料理を提供。地元でも人気のカフェとなっていたが、「2年前に妻が亡くなったからは、臨時営業ということまで細々とやっています」という岡さ



虹のいえ

千葉県山口市蓮沼口3594-5



nijino-ie.com

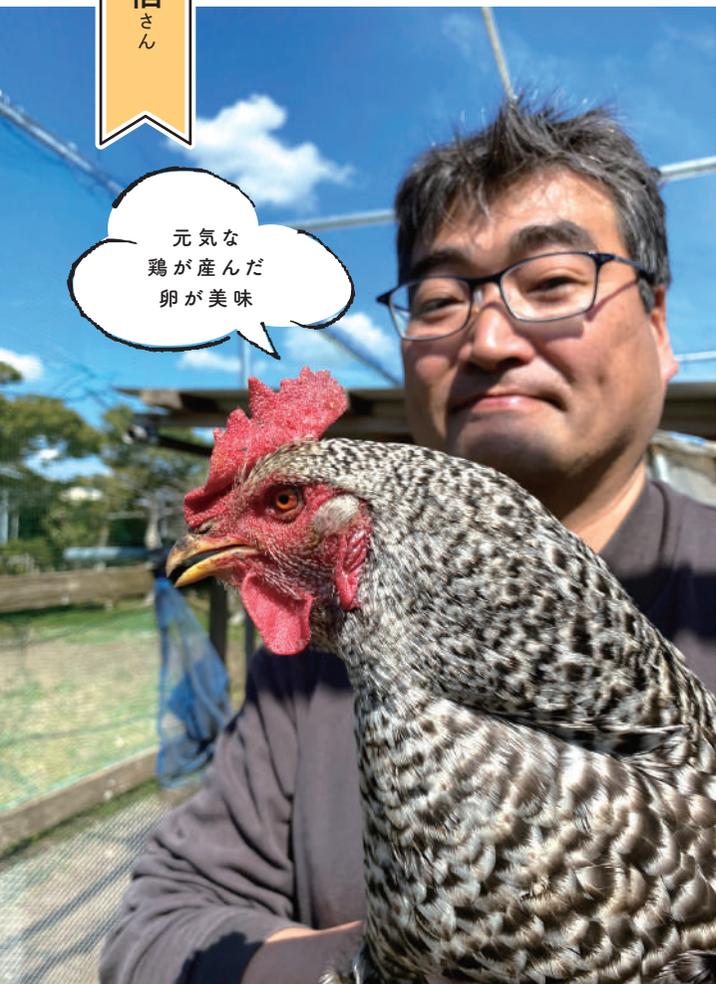
自分たちで
生産した食材を
使った料理を提供

ん。営業再開を望む声も大きいが、2022年は、5月末から7月上旬のあいだで6日間、11月末から12月上旬で6日間くらいの臨時営業をする予定。営業日はホームページを見て確認できる。



①窓が大きく、冬でも日が差すと暖かい室内は、天井が高く開放感抜群。②有機野菜の畑の野菜くずなどを食べて大きくなった鶏は、合わせて80羽ほど飼育している。③腐葉土をたくさん入れた炭素循環農法の畑。④鶏小屋の土が鶏のフンを分解してくれるので、小屋の中に入ってもイヤな臭いがしない

元気な鶏が産んだ卵が美味



5年かけて開拓した「森の中のレストラン」

八街市でフレンチベースの洋食屋を32年間、営業していた坂本さん。60歳になったら、女房と二人でテーブルが2、3席のガーデンニングのできるこぢんまりしたレストランをやるかと思ってきました。57歳になり、八街市で500坪くらいの土地を探していたが、なかなか希望通りの物件は見つからなかった。山口市で見つけたのは2000坪の土地で、しかも山林だったが、購入を決意。いちから開拓することになった。八街のお

①地元産の野菜や、近くの知人の畑で採れた野菜を使用。テラス席はペット同伴OK。②レストランからは、手入れのされた庭が見渡せ、季節の花が楽しめる。③5月と10月に咲くバラを目当てにくる人も。④草刈り機やチェーンソーを使い、家族総出で開拓した

3	1
4	2

家族総出で
山林を開拓し
レストランを
オープン

店が休みのときに、娘さん、息子さんと家族総出で山林を開拓。土地を買って5年後、62歳のときに「ふらんす屋」を山口市でオープンした。八街のお店のときから通ってくる人も多く、親子孫の三代にわたって通ってくれる人もいるそうだ。「森の中のレストラン」がコンセプトで3月のサクラにはじまり、バラ、アジサイ、モミジ、そして1月のクリスマスローズまで年間を通して花が楽しめる。おすすめメニューは、ビーフシチュー。こだわりの和牛を使っている、フオンドヴォーベースの軽い味わいでリピーターも多い。



ふらんす屋

千葉県山口市椎崎1321-2
☎ 0475-80-7887



http://france-ya.main.jp/

四季折々の花も楽しめます



移住・起業

SAMMU/CHIBA

10

株式会社るうふ



Rufu Watanahe

渡辺睦美さん

築130年の古民家を改修した宿に宿泊ができる



るうふ杉之家

千葉県山武市松尾町古和608



loof-inn.com/reservation

1

2

3

①土間から板張りの居間と、その先の寝室を見たところ。太い梁が特徴的。②洗面台は新しく改修され古民家の重厚感とのバランスもいい。③土間の壁際にあるキッチンスペース。炊飯器、冷蔵庫、電子レンジ、食器類など基本的な料理設備は揃っているので、食材を持参して自炊もできる



ワンちゃんと泊られます!



築130年の古民家を目的地として遊びにきて欲しい「古民家宿るうふ」は、築100年以上の古民家を地域の風土や建物の特色を活かしながら改修した一棟貸しの宿。山梨県にある株式会社るうふは、そんな古民家宿やグランピング施設の運営などを行っている会社である。

2021年8月1日、山武市松尾に「るうふ杉之家」がオープン。山梨県以外では初の物件となる。どっしりとした構えの豪農と呼ばれた民家を改装したもので、築130年。囲炉裏のある土間から、広い居間を見渡すことができる。定員は8名で、居間の他に寝室が3室と和室がある。300㎡ある庭はドッグランになっていて、愛犬と一緒に泊まれる宿である。土間までは愛犬も出入りOKとなっている。庭ではハーベキューも可能。また、ここでは山武らしい体験として山武杉を使ったお箸作り体験ができる。

美味しい野菜を作ってます



移住・起業

SAMMU/CHIBA

09

三つ豆ファーム



Kousuke Yamaki

山木幸介さん

三つ豆ファーム

千葉県山武市横田533-8
090-5948-9107



https://www.instagram.com/mitsumamefarm/



新規就農から野菜を作り続けて17年目を迎えた

第一次産業である農業を志したのは、人間力をつけるため

バックパッカーとしてインドやタイ、ネパールなどのアジアの国を旅していたという山木さん。旅先で自分の人間力のなさを痛感し、とくにインドでは市井の人々のたくましさを感じたそう。自分もそういう力強さを身につけるためにはどうしたらいいか考えた結果、第一次産業である農業を志した。2004年に池袋で行われた農業フェアに参加。研修生を募集していた成田市の生産者グループで働きはじめた。その研修の一環で、



①育苗ハウスのなかには、野菜の出荷を途切れさせないために、播種のタイミングをずらし育った苗が並んでいた。②麦の種を播くところからスタートし、収穫した麦を使ったパン作り体験も行う。③個人用の野菜バックも販売。④生命力の塊のように元気な苗!

3 1
4 2